

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラム

Transforming Pharma R&D with AI Native Intelligence

Deep Intelligent Pharma（DIP）は最先端のAI技術を活用した創薬プロセス（研究研究～市販後調査）全体の最適化・加速化ソリューションを提供するハイテク企業であり、グローバルファーマ及び、スタートアップのライフサイエンス研究開発を支援しています

Deep Intelligent Pharmaのご紹介

● Deep Intelligent Pharmaについて



会社名	Deep Intelligent Pharma (以下「DIP」)
-----	--------------------------------------

設立 年月日	2017
-----------	------

事業の 種類	ライフサイエンス
-----------	----------

拠点	シンガポール、東京、大阪、北京など
----	-------------------

No. 従業員数	200+
----------	------

会社概要

AI技術を活用し、研究開発から市販後調査までのライフサイエンス研究開発を支援するグローバルなハイテク企業。

コアサービス

AI薬事翻訳

99%以上の精度で業界をリードする翻訳サービスを提供。

AI高価値R&Dライティング

複雑な文書作成において、人による作成を上回る品質を実現。

AIマルチエージェント臨床試験プラットフォーム

日本の公的プロジェクトにも採用されている、エンドツーエンドのインテリジェントソリューションを提供。

AIマルチエージェントファーマコビジランス

グローバルプレゼンス



DIPのソリューションは、バイエル、BMS、MSD、ロシュ、JJMCなどの多国籍大手企業や、世界的に認知されている革新的な製薬・医療機器企業を含む、世界中の1,000社以上の製薬企業に提供されています。

NQ版Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGMでは公的補助金申請承認、VC提案、PMDAからの臨床計画承認を目指すSUの申請・臨床計画策定プロセスの効率化・迅速化に寄与する支援を提供します

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラムの概要 1/2

	項目	内容
1	プログラムの狙い	・シード、アーリー期にあるSUのTPP（Target Product Profile）作成を支援し、AMEDなどの公的補助金獲得もしくは資金調達に向けたVC向け提案活動を支援する ・アーリー期後半に位置するSUのPMDA向けの臨床試験計画書作成プロセスをAI技術の活用を通じて支援し、PMDA申請プロセスを迅速化する
2	ターゲットSU	・シーズ、アーリー期にあるSU：10者
3	支援サービス範囲	・事業戦略策定支援・知財戦略策定支援・薬事戦略策定支援 ・非臨床試験計画策定支援・臨床計画策定支援

NQ版Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGMでは公的補助金申請承認、VC提案、PMDAからの臨床計画承認を目指すSUの申請・臨床計画策定プロセスの効率化・迅速化に寄与する支援を提供します

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラムの概要 1/2

	項目	内容
4	支援体制 ※主な支援担当者	・Deep Intelligent Pharma : 山本 晋也・大阪大学: 森口 悠 ・Johnson & Johnson : 楠 淳・ベーリンガーインゲルハイム: 前田 朋子 ・Miracle Science Innovation : 小林 茉莉
5	ロケーション	・NQでのリアルイベント（キックオフ、成果報告） ・リモートミーティング及び、Chat等でのレクチャー
6	支援サービス範囲	・プロジェクトキックオフ: 12月5日 ・個別セッション（名称仮）: 12月27-28日、1月24-25日、2月15-16日 ・ピッチイベント: 3月5日

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラムは下記の2名が主導して推進します

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラム講師



山本 晋也

Deep Intelligent Pharma株式会社・ゼネラルマネージャー
一般財団法人未来医療推進機構 エキスパートサポーター

大阪大学大学院医学系研究科国際未来医療学講座 招聘教授

大阪大学医学部附属病院未来医療開発部国際医療センター・臨床研究センター 招聘教授

日本の連続起業家、社会起業家、経営者、投資家、Startup Mentor、社会物理学者。大阪大学、神戸大学、東北大学、法政大学等、複数の大学で招聘・客員・特任教授、兼任講師として、Innovation Management、技術経営、政策科学、認知科学、人工知能、デジタルヘルスに関する学術・臨床研究、大学発スタートアップエコシステムの創出、ビジネス・スクール（MBA）等の教育活動に従事。中央政府各省庁の政策検討委員会委員、特別研究員等も歴任している。専門は、化学（BSc）、分子生物学(MSc)、技術・革新的経営(PhD)。共創イノベーションのためのWeb 3.0/DAOの社会実験コミュニティ「DICT - Design, Innovation, Co-Creation, Technology」の創設者、代表でもある。



森口 悠

一般財団法人未来医療推進機構 エキスパートサポーター

大阪大学医学部附属病院未来医療開発部 国際医療センター 特任講師

大阪大学大学院医学系研究科国際未来医療学講座 特任講師

大阪大学医学部卒業後、国際がんセンター、大阪南医療センターなどで整形外科臨床に従事。同学大学院博士課程修了後に米国Weill Cornell Medicine / AOSpine North AmericaにおいてSpine Fellowとして勤務。2022年より大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部国際医療センター特任講師。整形外科専門医・医学博士。AIを用いた疾患診断システム株式会社Ayumo CTO。

グローバルファーマメンバーがNQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレータープログラムサポーターとして 当事業に関与します

グローバルファーマ・プログラムサポーター



楠 淳

ジョンソン・エンド・ジョンソンイノベーションアジアパシフィック、東京オフィス シニアディレクター、
ジャパン・カンントリーリード、アーリーイノベーションパートナーリング

大学院修了後、23年間循環器系・代謝性疾患領域における低分子創薬研究に関わり、広範な研究キャリアを築いた。加えて3年間のメディカルアフェアーズ（糖尿病領域）業務を経て2014年より現職。現在のジョンソン・エンド・ジョンソンイノベーションではアカデミアやスタートアップ企業の有する早期シーズの探索・評価・契約などの事業開発業務を行い、ヤンセンファーマ研究開発部門との橋渡しを行なっている。特に草の根活動を含め、スタートアップや大学のようなアーリースーズに対するアドバイスやメンタリングを通じたシーズ育成などの取り組みを重視している。



前田 朋子

日本ベーリンガーインゲルハイム 株式会社 神戸医薬研究所 創薬研究アライアンス部長、
Venture Partner, Synapto Ventures、大阪大学 共創機構 特任教授

東京大学農学部獣医学科卒、獣医師、博士（医学）
塩野義製薬 株式会社において創薬研究、マーケティング、経営企画、事業開発等を経験したのち、
2019年より現職。

日本と韓国を中心に、産学・産産連携活動、アーリーステージの共同研究マネジメントを行っている。

当プログラムは下記のメンバーがサポートします

プログラムサポーター



小林 茉莉

MIRACLE SCIENCE INNOVATION株式会社

九州大学歯学部卒、九州大学歯学研究院博士課程修了（歯学博士）。大学では歯周組織再生に関する基礎研究および診療に従事。日本歯周病学会および日本口腔インプラント学会認定医。

臨床医として診療に携わる一方、スタンフォード大学発の医療・ヘルスケア機器開発のアントレプレナー育成プログラムであるジャパン・バイオデザインプログラムに東京大学イノベティブフェローとして参加。同プログラム修了後、大阪大学発の医療系ベンチャーである株式会社リモハブに加入、臨床開発および薬事/QMSを主に担当。取締役としてM&AによるExitに貢献した後、同社退任。その後は、医療系ベンチャーのCXOやベンチャーキャピタルのアドバイザーを歴任。

NQ版Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGMにおけるスタートアップ向け 支援項目と内容は下記を想定しています

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレーター支援メニュー（項目） 1/2

支援項目	概要	当プログラムでの支援内容（想定）
事業戦略	スタートアップ企業が開発の初期段階から事業化への道筋を明確にすることを支援	・目標製品プロファイル（Target Product Profile）の策定支援 製品の目標、適応症、優位性など重要な製品特性の定義を支援します ・市場・競合分析 市場の動向や競合の状況に基づき、企業が注力すべきコア領域定義のための助言を提供 ・ビジネスモデル構築支援 将来的な保険償還価格の動向を踏まえた持続可能な収益モデル設計を支援します ・スケールアップ支援 企業の将来的な成長と事業拡大に向けた戦略的助言を提供します
知財戦略	企業のコア技術と無形資産を保護し、競争優位性を構築する取組を支援	・戦略策定と優先順位付けの支援 知的財産ポートフォリオを構築面で考慮すべき事項を整理し、優先順位の決定を支援します ・海外での特許出願に関する助言 海外（例：米国、欧州）で特許出願を行う際に、最適なルートや戦略を選択するための専門的知見を提供します
薬事戦略	製品が規制当局の承認を円滑に取得し、上市を成功させるための支援	・薬事申請資料に関する助言 医薬品の市販後承認申請に必要な資料準備に関する指導、特にCMC（化学・製造・品質管理）パートについて専門的な助言を提供します ・マネタイズを見据えた戦略的助言 規制要件を満たしつつ、収益化を達成するための全体的な薬事戦略の策定を支援します

NQ版Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGMにおけるスタートアップ向け 支援項目と内容は下記を想定しています

NQ版 Bio-Catalyst AIアクセラレーター支援メニュー（項目） 2/2

支援項目	概要	当プログラムでの支援内容（想定）
非臨床試験 計画	臨床試験開始前に研究の方向性を指導し、その科学的妥当性とコンプライアンスを確保するための支援	・計画のフレームワークと助言 非臨床試験全体の設計フレームワークや戦略に関する助言を提供します（具体的な試験計画書の作成は含みません） ・承認を見据えたデータ管理 将来の承認申請の要件を満たすため、適切なデータ管理方法について指導します
臨床試験 計画	臨床試験の根幹となる計画の骨子を構築し、実施における重要課題を解決するための支援	・臨床試験実施計画書の概要（シノプシス） 設計支援 臨床試験実施計画書の概要（シノプシス）の設計を支援し、その後の詳細な計画書作成の土台を築きます ・患者リクルートメント支援 必要数かつ特定の背景を持つ患者を確保するための専門的な助言や戦略を提供します

Nakanoshima Qrossにおける「Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGM」への応募条件は以下となっています

応募条件・審査基準

応募条件

以下の要件を満たすスタートアップ

1. 日本国内に法人格を有していること（法人設立を目指すスタートアップを含む）
2. シード、アーリーフェーズのスタートアップであること（支援対象スタートアップは基礎研究段階完了程度以上のフェーズを対象とする）
3. グローバル展開を志向していること
（医薬品・医療機器・医療ソフトウェアやその関連技術・サービスを国内及び、国外で販売する計画・意向があること）
4. 経営者等の役員や事業開発の責任者等、意思決定の権限を有する者が実施する当プログラムに参加できること
5. Nakanoshima Qrossへの入居を検討できること（業務・研究機能の一部の入居でもよい）

審査基準

- ・ 技術革新性：アイデアや技術の独自性と優位性
- ・ 市場性・成長性：商業化の可能性と市場規模
- ・ 社会性：社会への貢献度と影響力
- ・ 実現可能性：事業として実績をあげている、または見込みがあるか
- ・ チームの実力：チームメンバーの経験と実績 等

審査の結果、スタートアップ成長加速支援に10者程度採択予定

Nakanoshima Qrossのウェブサイトより基本情報登録いただきましたら、登録されたメールアドレスに応募書類提出依頼を送付します

登録に必要な基本情報

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 所属組織名・役職 | 7. 現在関わっている研究・事業内容 |
| 2. 氏名 | 8. 貴社の事業内容がわかるURL（任意） |
| 3. 氏名（ローマ字） | 9. 起業経験の有無 |
| 4. メールアドレス | 10. 英語対応レベル（読み書き・会話） |
| 5. 電話番号 | 11. 本プログラムに期待すること |
| 6. 住所（都道府県） | |

ご確認事項①：選定審査について

別途で定める審査基準に沿って、必要に応じて対面審査（状況によってはリモート会議）を実施します。

ご確認事項②：12月5日(金)16:00-18:00・NQ版_Bio-Catalyst AIアクセラレーターPGMキックオフイベントについて

第1期としてNQスタートアップに選定された場合、キックオフイベントにてショートピッチをしていただきます。オンライン配信もございますが、原則会場にてご出席ください。なお、会場は、Nakanoshima Qross内(住所：大阪市北区中之島4丁目3-51)となります。

ご登録後、資料提出依頼をメールアドレスに送付しますので、提出をもって応募完了とします